

令和6年10月 教育委員会定例会

期 日	令和6年10月10日(木)				
	開 議	10時00分			
	閉 議	11時50分			
場 所	教育委員会室				
出席状況					
委 員	澤 崎 秀 之	教 育 長	出席	欠席	
	澤 崎 郁 子	職務代理者	☐	☐	
	岩 坂 昭 宏	委 員	☐	☐	
	岡 川 聖 代	委 員	☐	☐	
	伊 東 知 之	委 員	☐	☐	
事務局	見 延 政 和	局長	☐	☐	
	川 端 清	理事	☐	☐	
	林 亜希子	教育振興課長	☐	☐	
	朝 倉 匡 哉	学校教育指導室長	☐	☐	
	武 藤 加代子	生涯学習・芸術文化課長	☐	☐	
	田 中 昇	スポーツ課長	☐	☐	
	北 川 智 士	図書館長	☐	☐	
	中 谷 光	生涯学習センター長	☐	☐	
	齋 藤 秀 一	文化財保護室長	☐	☐	
	林 憲 司	市史編さん室長	☐	☐	
	倉 橋 和 代	課長	☐	☐	
	前 田 博 士	市民福祉部理事(関係者)	☐	☐	
	橋 谷 和 成	政策推進幹	☐	☐	
	島 田 佐智代	教育振興課副課長(書記)	☐	☒	
	岩 端 麻 紀	教育振興課副課長(書記)	☐	☐	

令和6年10月 教育委員会定例会議の結果（概要）

【令和6年10月10日（木曜日）開会時刻 午前10時00分】

【議 事】

日程第1 会議録署名員の指名

（議案の審議）

日程第2 議案第27号 令和6年度越前市教育委員会表彰について

（教育長の事務の状況の報告）

日程第3 越前市公民館運営協議会委員の委嘱について

日程第4 令和6年9月補正予算の概要について

日程第5 越前市議会9月定例会一般質問等の概要について

日程第6 各課の事務の報告について

（その他）

日程第7 次期教育委員会定例会等の日程について

日程第8 その他

・越前市教育振興ビジョン改定作業の進捗状況について

傍聴人 なし

【会議の主な経過】

日程第1 会議録署名員の指名

澤崎郁子教育長職務代理者を指名した。

(議案の審議)

日程第2 議案第27号 令和6年度越前市教育委員会表彰について

【議案：橋谷政策推進幹が説明、表彰候補者調書：各課長が説明】

(質疑)

澤崎教育長職務代理者 生涯学習・芸術文化課からたくさん推薦されているのはなぜか。基準が変更になったのか。

武藤生涯学習・芸術文化課長 芸術文化部門の推薦が例年に比べて多い。20年以上活動をした方という基準があり、これまでは現役を引退するときに表彰していたが、今回は潜在候補者を精査する中で、活動が20年を超えた方を表彰することとした。基準に変更はない。

澤崎教育長 今回は、20年という基準を越えた方、役職を終えた方が多かった。表彰者の人数に制限はない。

伊東委員 越前市教育委員会表彰候補者調書には、部門ごとに順位がつけられているが、リストがあるのか。

橋谷政策推進幹 潜在候補者名簿がある。この中から候補者を選び、表彰候補者調書を作成している。順位については、年齢等によりつけている。20年という基準に達していなかったり、節目ではなかったりということで調書に挙がらなかった方もいらっしゃる。

岩坂委員 公民館からも推薦してもらっているのか。

武藤生涯学習・芸術文化課長 教育委員会表彰については、公民館からの推薦はいただいている。社会教育活動推進功労者表彰の選考の際には公民館にも照会している。

(討論)

なし

(採決)

全員異議なし。議案第27号は、承認された。

(教育長の事務の状況の報告)

日程第3 越前市公民館運営協議会委員の委嘱について

【武藤生涯学習・芸術文化課長が説明】

(質疑)

なし

日程第4 令和6年度9月補正予算の概要について

日程第5 越前市議会9月定例会一般質問等の概要について

【橋谷政策推進幹が説明】

(質疑)

澤崎教育長職務代理者 給食費高騰対策特別支援事業補助金については、高騰分を補うものであって、デザートをつけたりしてももう少し豪華になるということではないのか。また、冷凍食品や外国産の食材の使用について、今後はアンケート結果も踏まえて、取り入れられると解釈してよいのか。

林教育振興課長 牛肉を鶏肉にするなど食材の置換えをして給食を作っているが、置き換えられる食材の種類も少なくなっている。栄養価を満たすことを第一に考えたうえで、余裕があれば魚やデザートの提供についても調整していただく。保護者を対象にしたアンケートの結果、保護者の方は冷凍食品や外国産食材はなるべく使用しないでほしいという考えであることを踏まえ、給食について検討していきたい。

伊東委員 給食のアンケート結果について、今後報告はあるのか。

林教育振興課長 公表する方向で考えていきたい。

伊東委員 文化財を個人で所有している方にはどのように補助金が支払われるのか。

齋藤文化財保護室長 指定文化財と国の登録文化財に登録されているものは市からの補助制度がある。国の文化財には国から1/2、その残りを県と市が1/3ずつ補助を出している。また、県の文化財には県から1/2、その残りを市が1/2出している。

伊東委員 具体的にはどのような経費があるのか。

齋藤文化財保護室長 建造物すべてが指定になっている場合、その全体を修復するための事業費が補助対象となる。修繕費が500万円の場合、市の指定文化財であれば、市から250万円を補助する。また、国の登録文化財であれば、国が250万円、残りの250万円を県と市と所有者が1/3ずつ負担する。ま

た、文化財を保管する建物が傷んだ場合、保管施設としての補助が出る。文化財が占める面積の割合で屋根の修復に係る補助金の額が変わる。国の指定については収入の状況により上乗せ補助があり、最大で35%、全体で85%の補助がある。

伊東委員 個人の申請により補助が出るのか。

齋藤文化財保護室長 文化財の管理者から教育委員会に連絡が入ると、文化財保護委員が状態を確認する。修復した方がよい場合には見積もりをとり、交渉をして、次年度の予算要求につなげていく。

岡川委員 9月補正予算におけるスポーツ施設管理運営事業について、武生東運動公園ソフトボール場のバックネットを撤去した後、新しいものを設置するのか。

田中スポーツ課長 バックネットA～Dの4面のうち、C面とD面は昭和52年に建てられたが、今まで大きな工事をしたこともなく、非常に老朽化している。一方、A面とB面は何度も改修されており、健全度に問題はない。現在の武生東運動公園ソフトボール場の利用状況を見ると、ほとんどがA・B面の使用であり、今後ソフトボール協会と協議しながら方針を決めいく。

岡川委員 使用することはでき、特に影響ないということか。

田中スポーツ課長 使用履歴がほとんどないため、影響はないと考える。また、バックネットがないだけで、広場としては使用できる。

岡川委員 一般質問がなされた「少年少女の検挙・逮捕者の増加」に関連し、越前市の状況はどうか。見回りを強化しているのか。

武藤生涯学習・芸術文化課長 越前市青少年問題協議会という、各青少年関係団体が連携して協議する場がある。その中で、越前警察署から現状の報告をしていただく。都会だけでなく、地方にも若者がたむろする状況が広がっており、例えば、福井駅周辺には越前市の若者も合流してたむろしている。この状況を共有しながら、市としては、愛護センターと各地区の補導委員が見回りをし、愛の一声活動を地道に行っている。警察からの情報提供もあるため、そこを重点的に見回っている。

岡川委員 低年齢化してきているのではないか。見回りしているという状況があると子どもたちにとって違うと思うので、しっかり見回りをし、補導してほしい。

見延局長 越前市の非行少年検挙数は、過去5年間では令和2年度をピークに減少したものの、令和5年度に増加に転じた。要因として、コロナが収束して活動が多くなったこと、SNSの普及などがある。犯罪をしてしまった少年に対しては保護司会が連携して対応したり、補導委員会では相談対応も行ったりしている。

岩坂委員 保護司会や警察のボランティア団体は、犯罪を防ぐ活動に力を入れているが、SNSなど目に見えない犯罪は手出しができない現状がある。

澤崎教育長職務代理者 資料の報告18ページに、「タブレット端末が児童・生徒の悩みを受けることができるツールになる」とある。アンケートや意識調査で活用するのはよいが、タブレット端末に相談を任せてしまうのは危険なことだと思う。人と人とが接して悩みを打ち明け、心を通わせ合い、信頼関係のもとに教育相談があるので、そういうものを大事にしてほしい。気軽に悩みを打ち明けることができない子どもには手段になり得るが、今後の課題だと思う。

朝倉学校教育指導室長 学校では、定期的に教育相談アンケートや悩みアンケートを実施している。結果を集約しやすいようにタブレット端末を利用した学校もあったが、やはり紙のアンケートに戻して、子どもたちの書き方や、一度書いたものを消した行動が見えるようにした学校がある。タブレット端末は非常に便利なものなので、毎日の心の健康観察などに利用できるとよいが、受け取り側がどう察知するか、どう相談につなげていくかが大事なところだと認識している。

岩坂委員 子どもたちがタブレット端末を利用して、匿名で相談できる環境はあるのか。

朝倉学校教育指導室長 学校単位でできると思う。匿名か記名かは使い分けている。

岩坂委員 自分の学校の先生に知られずに相談したい場合、相手の顔が見えない相談者に相談できる環境もあるといいと思うが、いかがか。

朝倉学校教育指導室長 県の取組みとして、電話相談やLINE相談がある。接点のない人の方が相談しやすい場合には、この相談窓口も紹介している。

日程第6 各課の事務の報告について

【各課長が説明】

(質疑)

なし

日程第7 次期教育委員会定例会等の日程について

【林教育振興課長が説明】

日程第8 その他

【林教育振興課長が説明】

越前市教育振興ビジョン改定作業の進捗状況について

(質疑)

澤崎教育長職務代理者　今回の改定で、越前市教育振興ビジョンが簡略化され、すっきりした印象を受けた。内容も精選されている。現教育振興ビジョンでは、ふるさと教育についての内容が薄かったが、今回は1ページにしっかり記載されている。地域の特色と絡めているところがわかりやすくよい。また、子どもの読書活動についても力を入れており、詳しく記載されていた。ただし、今までの教育振興ビジョンは、越前市教育方策との関連という意味で例えば「人間力を高める教育の充実」などの項目となっていたが、今回は1つ目が「未来へ続く教育」、2つ目が「ふるさとへの誇りの醸成」という内容にまとめたと解釈してよいのか。

林教育振興課長　これまでの教育振興ビジョンが総合計画の組立てをベースにしていたため、今回もそのようにした。総合計画に基づいた言葉を入れて、仮でタイトルをつけており、第2回越前市教育振興ビジョン改定委員会全体会で諮りたいと考えている。

澤崎教育長職務代理者　越前市教育方策と内容がかけ離れてしまうといけない。

林教育振興課長　11月5日に開催する教育振興ビジョン改定委員会全体会で総論案を示し、ご協議いただく予定であるが、教育方策をご覧いただいたうえで、ご意見をいただくようにする。また、今回、気軽に手に取って読んでいただくためにボリュームを絞った形にした。さらに、市としてどのような姿を目指しているかイメージしやすいタイトルにした。

澤崎教育長職務代理者　今後写真等が入るとわかりやすくなると思う。

伊東委員　5月の市長と教育委員との語る会の時に、教育振興ビジョン改定に関して市長部局と教育委員会が合同会議を行うという話があったと思うが、2月に行うのか。

澤崎教育長　市長から、教育振興ビジョンが形になる前に協議してほしいとのことだったので、これまで事務局が市長に説明してきた。合同会議を行いたいと思っていたが、アンケートや市民の意見を分析したうえで、総合教育会議の中で機会があれば話をさせてほしいという方向性になっている。

岩坂委員　タイトルが非常にわかりやすい。何をやりたいたかがわかる。

岡川委員　項目だけ見てもわかりやすい。また、保護者からすると家庭教育の必要性を感じる。地域との関わりが大切なことも多く書かれている。「わが家のインターネット10カ条」は今も利用されているようだが、内容は以前と変わっているのか。

武藤生涯学習・芸術文化課長 「わが家のインターネット10カ条」は、令和3年度に文言を少し変えている。「お金がかかることはしない」を「ショッピングやゲームの課金などお金がかかることはしない」として具体例を加えており、基本的な内容は変わっていない。

岡川委員 タブレットを家に持ち帰り、インターネットを見る時間が増え、親の目が届かないことも増えている。今は小学生でもスマートフォンを持っている。「わが家のインターネット10カ条」の必要性について当初から疑問があった。10カ条の内容をどう考えるか。

武藤生涯学習・芸術文化課長 青少年問題協議会が行っており、学校関係者も委員として入っている。10カ条を活用しながら年3回親子でチェックして取り組んでいるという報告を受けている。年度明けに各学校から集計したものをいただき、それを分析して青少年問題協議会で情報共有している。意識づけや親子で改めて確認する機会として活用していただきたいと思っている。

岡川委員 時代に即した内容になっていればよい。

武藤生涯学習・芸術文化課長 内容については、見直していく。

澤崎教育長 学校のGIGAスクール構想などにより、タブレット端末を持ち帰ることが増えているので、子どもたちに効果的なチェック項目になるよう部分改定などするとよい。

【閉会時刻 11:50】

越前市教育委員会会議規則第17条第2項の規定により、上記会議録を承認するために署名する。

教 育 長

澤 崎 秀 之

委 員

澤 崎 郁 子